

阿波の名医 小原春造

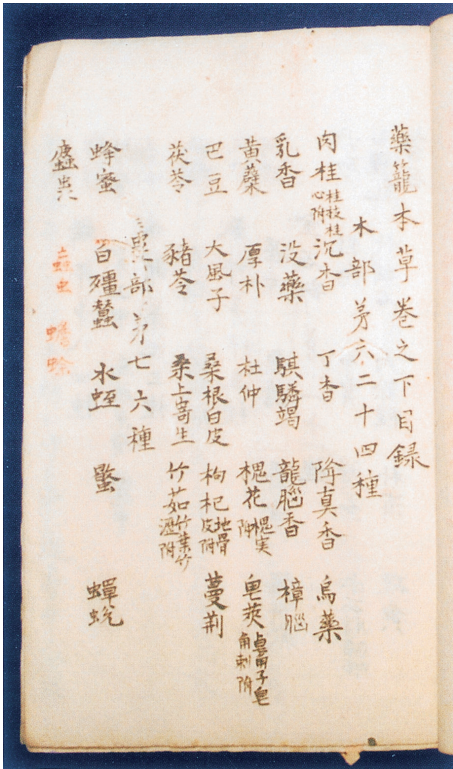


図3 巻之下 (下巻) の目録

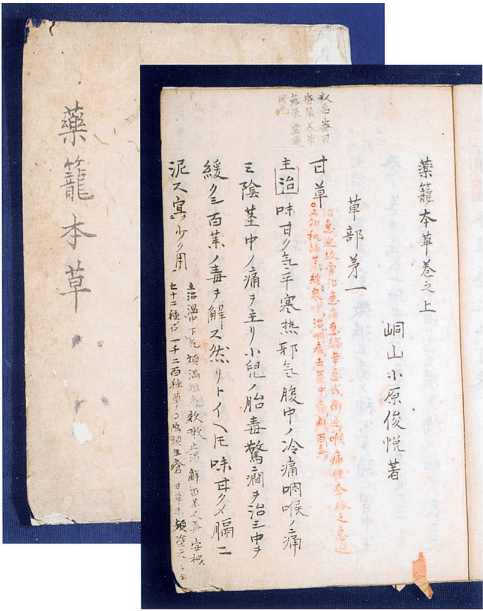


図1 「薬籠本草」の表紙 (原本は徳島県立図書館蔵)
 図2 巻之上 (上巻) 本文の最初 代表的な薬草の甘草について、味は甘く、腹の冷えや咽頭の痛みに効果があると記述。春造の通称は、最初は俊悦、後に春造と改め、名は就正、号は峯山であった。

現在の徳島大学医学部、薬学部の淵源を訪ねていくと、阿波藩の医師学問所につきあたる。その主(校長)を務めた小原春造教授が、徳島の医学・医育・本草学の礎を築いた。小原春造(一七六二—一八二二)は宝暦一二年に京都で出生。青年時代に諸国を遊歴して医学・本草(薬草)、金石(鉱物)などの調査研究を行い、優れた英才が認められていた。当時、阿波藩では、医師学問所と薬園の併置開設を準備

しており、寛政七年(一七九五年)に藩医および学問所の講主に春造が招かれた。彼は京都、讃岐、紀伊・大和、大坂、土佐などに足を運び、薬草や物産の調査も続けたのである。

春造の代表的著作として、本草学の大要を概説した「薬籠本草」が挙げられる(図一、一六、二二)。学問所で医生講義のテキストとして用いられていた。薬草(木)について、上巻五二二種、中巻三七種、下巻二四種の記載がみられる。

また、「龍骨一家言」では、讃岐の龍骨は旧象の化石であると独自の見解を述べた(図四)。本邦における江戸時代の鉱物学史で、最も興味深い文献として知られる。同書には蜂の論考も収載され、興味深い(図五、六)。他の功績には「阿

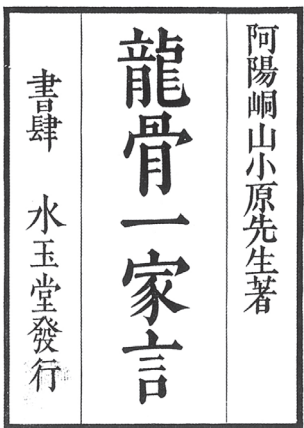


図4 「龍骨一家言」(りゅうこういつかげん)の表紙

波淡路両国産物誌」(阿淡産誌)の編纂がある。阿波、淡路の草木、金石、虫魚、禽獸について彩色図譜と詳述を行ったもので、彼の子孫三代にわたってようやく明治五年に完成。この大著が脱稿したときは、徳川幕府の崩壊期で、出版公開される機会を失っていた。しかし、大蔵省による産物調査の際、随行してきた高鋭

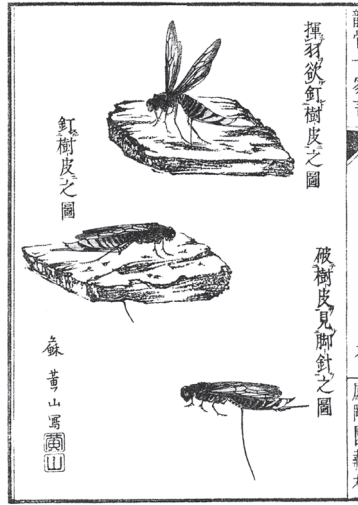


図6 「独脚蜂之説」のイラスト

獨脚蜂之説
本草之學也難矣哉。地有南北之域焉。物有古今之差焉。自非博考。遍視何至其無謬乎。如此蜂者。我邦古不詳。而今著者也。嗚呼造化之妙。不量焉。有弟子類者。一日袖此蜂來示予。且曰。此蜂有六足。而蒙獨脚之名者。何答曰。彼蜂之刺樹也。乃皆縮屈六足。藏之翹間。但以鍼釘於樹。故稱獨脚。又曰。一足連樹根也。夫古人辨說於物。舉其大而遺其細者。類例不少。今舉一證之。如蝦蟇有

図5 「独脚蜂之説」の本文



図8 春造の墓碑 墓碑には「本草学者小原春造墓所」とある。



図7 春造の墓碑は、徳島市南沖洲町にあった光明庵(廃寺)墓地の入口に隣接したところにある。本図の右端にみられる。

一(高良斎の長男)が名東県庁で発見し、政府に献納を薦めたという経緯がある。彼は現在徳島市南沖洲町で眠っており、その墓碑には「本草学者小原春造墓所」とある(図七、八)。

(徳島大学医学部青藍会
会報第五八号
三九一四〇ページ、二〇〇一)

Prof. OHARA Shunzo

When we look back the origin of Tokushima University Faculty of Medicine, medical school of Awa Clan was formerly present in Edo period. The principal and Prof. OHARA Shunzo (1762-1822) established the foundation of medicine, pharmacology and herbalism. He was born in Kyoto and traveled around the world during his adolescence. He majored in medicine, herbs, mineralogy and others accompanied with his excellent broad knowledge.

At that time, Awa clan has prepared opening doctor's school and herb garden aside, and then he was invited as the clan doctor and lecturer. He published a textbook for overview of herbalism, including 52, 37 and 24 species in volume 1-3. He was also interested in fossils, animal and biology. Furthermore, he achieved the compilation of a Bulliten for various products in Awa and Awaji. It included colored map and detailed descriptions of plants, rocks, insects, fishes, birds and beasts, that was finally completed in 1873 by three generations of his descendants. This great work was later dedicated to the Japanese government.